

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成27年11月12日

**【四半期会計期間】** 第67期第2四半期(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

**【会社名】** 株式会社フジマック

**【英訳名】** FUJIMAK CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 熊谷 俊範

**【本店の所在の場所】** 東京都港区新橋五丁目14番5号

**【電話番号】** 03 - 3434 - 7791

**【事務連絡者氏名】** 経理部次長 岡部 伸二

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区新橋五丁目14番5号

**【電話番号】** 03 - 3434 - 7791

**【事務連絡者氏名】** 経理部次長 岡部 伸二

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第2四半期 連結累計期間	第67期 第2四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高 (千円)	15,160,283	17,521,830	34,136,476
経常利益 (千円)	242,527	519,662	1,439,166
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失( ) (千円)	105,753	23,816	502,814
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	68,872	137,831	962,493
純資産額 (千円)	11,890,822	12,724,524	12,717,798
総資産額 (千円)	27,392,768	30,948,666	29,927,097
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額( ) (円)	16.14	3.63	76.72
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	43.4	41.1	42.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,653,116	1,040,344	2,373,299
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	951,142	651,868	2,097,049
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	356,432	963,245	41,597
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	7,542,519	8,225,966	6,863,040

回次	第66期 第2四半期 連結会計期間	第67期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	22.25	10.89

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益又は四半期純損失( )」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )」としております。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の景気対策と日銀の金融緩和策の継続を背景に、雇用情勢や企業業績の改善傾向が続くなど、全般的に緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、個人消費については、消費税率引き上げの影響が続き、輸入物価の上昇等で実質所得が伸び悩んでいることから、回復ペースは尚緩慢な状況です。一方、世界経済においては、米国が金融市場において再び債務上限問題を巡って緊張が高まっており、経済指標面でも雇用、消費が今夏減速していることが明らかになるなど、大きな不安材料を抱えています。また中国経済が減速し、その世界経済に与える影響の不透明感が増していること、さらにシリア難民問題を抱える欧州経済が陰りを見せていることなど、我が国経済に深刻な影響を与えかねない懸念材料があり、依然として予断を許さない状況であります。

このような内外情勢の下、当社グループは、ますます多様化し高度化するお客さまのニーズにお応えすべく、様々な業界の夫々のお客さまに最適な厨房をご提案する積極的な営業ときめ細かなアフターサービスを展開いたしました。一方、外食産業、ホテル・レストラン、病院、福祉施設、教育施設、企業内施設、さらには食品工場やセントラルキッチン等、幅広い分野において、リーマンショック以後抑制傾向にあった設備投資に全般的に回復基調が見られたことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は175億2千1百万円（前年同期比15.6%増）となりました。利益面につきましては、経常利益は5億1千9百万円（前年同期比114.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の1億5百万円の損失から当第2四半期連結累計期間は2千3百万円の利益に改善しました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり単一のセグメントであります。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、現預金・棚卸資産・有形固定資産等の増加、売上債権の減少等の結果、前連結会計年度末比10億2千1百万円増の309億4千8百万円となりました。負債につきましては、長期借入金や未払金等の増加、仕入債務・未払費用等の減少により、前連結会計年度末比10億1千4百万円増の182億2千4百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比6百万円増の127億2千4百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ13億6千2百万円増加し、82億2千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は10億4千万円（前年同期は16億5千3百万円の獲得）となりました。

これは主に、売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億5千1百万円（前年同期は9億5千1百万円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は9億6千3百万円（前年同期は3億5千6百万円の獲得）となりました。

これは、借入金の増加が15億5百万円あった一方で、借入金の返済および配当金の支払が5億4千2百万円あったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、9千5百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第2四半期連結累計期間に著しい変動があった設備、あるいは変動を予定している設備は、次のとおりであります。

連結子会社である株式会社トライアンスにおいて、当第2四半期連結会計期間に福岡県の新賀市内に新たに物流倉庫用地を4億5千7百万円で取得しました。当該土地はグループの物流拠点として利用する予定ですが、倉庫の建築計画等については現在詳細を検討中です。

また、連結子会社である株式会社ネオシスにおいて当第2四半期連結会計期間に、本社工場の生産設備を福岡工場に移管する作業を完了しましたが、これに伴って本社工場の設備等の一部を廃棄したため、固定資産の除却損失23百万円を計上いたしました。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,136,000	7,136,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	7,136,000	7,136,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日		7,136,000		1,471,150		1,148,365

(6) 【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ノヴァックス	東京都港区高輪 1 丁目27-37-1805	2,238	31.37
株式会社フジマック	東京都港区新橋 5 丁目14-5	582	8.16
熊谷 俊範	東京都品川区	509	7.13
フジマック従業員持株会	東京都港区新橋 5 丁目14-5	476	6.68
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内 1 丁目1-2	215	3.01
熊谷 俊茂	東京都目黒区	212	2.98
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町 1 丁目5-5	190	2.66
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内 2 丁目7-1)	175	2.45
常盤ステンレス工業株式会社	大阪府大阪市平野区加美北 4 丁目6-56	128	1.80
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ACCT BP2S DUBLIN CLIENTS-AIFM (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カス トディ業務部)	33 RUE DE GASPERICH, L-5826 HOWALD-HESPERANGE, LUXEMBOURG (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	122	1.72
計		4,850	67.97

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 582,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,551,700	65,517	
単元未満株式	普通株式 1,800		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,136,000		
総株主の議決権		65,517	

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋 五丁目14番5号	582,500		582,500	8.16
計		582,500		582,500	8.16

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,052,064	8,356,070
受取手形及び売掛金	8,181,946	6,811,669
商品及び製品	1,924,090	2,156,370
仕掛品	111,409	116,355
原材料及び貯蔵品	1,341,494	1,660,252
その他	904,378	828,025
貸倒引当金	6,901	9,982
流動資産合計	19,508,482	19,918,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,033,828	4,141,811
減価償却累計額	1,866,970	1,898,780
建物及び構築物（純額）	2,166,858	2,243,031
機械装置及び運搬具	4,081,907	3,855,746
減価償却累計額	2,932,179	2,738,304
機械装置及び運搬具（純額）	1,149,728	1,117,441
土地	3,514,126	3,754,947
その他	1,657,799	1,600,169
減価償却累計額	1,342,071	1,315,225
その他（純額）	315,728	284,943
有形固定資産合計	7,146,440	7,400,363
無形固定資産	97,278	88,770
投資その他の資産		
投資有価証券	1,468,204	1,610,387
その他	1,785,872	2,018,391
貸倒引当金	79,180	88,006
投資その他の資産合計	3,174,895	3,540,772
固定資産合計	10,418,614	11,029,906
資産合計	29,927,097	30,948,666

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,680,958	9,548,581
短期借入金	-	49,842
1年内返済予定の長期借入金	657,768	792,045
未払法人税等	251,641	331,275
賞与引当金	413,176	420,078
役員賞与引当金	23,654	17,790
製品保証引当金	78,000	83,100
その他	1,548,505	1,425,451
流動負債合計	12,653,703	12,668,165
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	1,709,776	2,620,006
厚生年金基金解散損失引当金	257,827	257,827
退職給付に係る負債	142,635	148,857
その他	1,445,356	1,529,285
固定負債合計	4,555,595	5,555,977
負債合計	17,209,299	18,224,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	8,109,565	8,002,311
自己株式	441,339	441,374
株主資本合計	10,287,742	10,180,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	489,073	632,814
土地再評価差額金	1,682,220	1,682,220
為替換算調整勘定	258,761	229,036
その他の包括利益累計額合計	2,430,055	2,544,071
純資産合計	12,717,798	12,724,524
負債純資産合計	29,927,097	30,948,666

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	15,160,283	17,521,830
売上原価	10,378,205	12,133,693
売上総利益	4,782,077	5,388,137
販売費及び一般管理費	4,590,315	4,901,168
営業利益	191,761	486,969
営業外収益		
受取利息	1,876	5,494
受取配当金	10,613	11,643
受取手数料	22,325	17,667
受取賃貸料	18,242	19,410
その他	26,640	28,746
営業外収益合計	79,699	82,962
営業外費用		
支払利息	21,973	26,404
為替差損	-	15,433
その他	6,960	8,432
営業外費用合計	28,933	50,269
経常利益	242,527	519,662
特別利益		
固定資産売却益	130	9,040
投資有価証券売却益	485	0
その他	-	299
特別利益合計	615	9,341
特別損失		
固定資産除却損	2,108	60,091
投資有価証券評価損	2,334	77,200
会員権評価損	-	6,050
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	257,827	-
その他	41	96
特別損失合計	262,311	143,438
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	19,168	385,564
法人税、住民税及び事業税	58,678	332,930
法人税等調整額	27,905	28,817
法人税等合計	86,584	361,748
四半期純利益又は四半期純損失( )	105,753	23,816
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )	105,753	23,816

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	105,753	23,816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97,117	143,740
為替換算調整勘定	77,508	29,725
その他の包括利益合計	174,625	114,015
四半期包括利益	68,872	137,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,872	137,831
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	19,168	385,564
減価償却費	272,871	306,369
受取利息及び受取配当金	12,490	17,138
支払利息	21,973	26,404
固定資産除売却損益( は益)	2,019	50,847
投資有価証券評価損益( は益)	2,334	77,200
売上債権の増減額( は増加)	3,424,033	1,348,620
たな卸資産の増減額( は増加)	115,537	556,510
仕入債務の増減額( は減少)	2,012,474	104,208
厚生年金基金解散損失引当金の増減額( は減少)	257,827	-
その他	57,084	246,484
小計	2,109,548	1,270,666
利息及び配当金の受取額	11,728	14,435
利息の支払額	22,849	26,933
法人税等の支払額又は還付額( は支払)	445,311	217,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,653,116	1,040,344
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	126,414	106,000
定期預金の払戻による収入	6,000	160,020
有形固定資産の取得による支出	718,068	495,704
無形固定資産の取得による支出	79,400	-
投資有価証券の取得による支出	12,719	7,353
貸付金の回収による収入	395	403
その他	20,934	203,233
投資活動によるキャッシュ・フロー	951,142	651,868
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	-	49,842
長期借入れによる収入	850,000	1,456,000
長期借入金の返済による支出	362,477	411,492
自己株式の取得による支出	18	34
配当金の支払額	131,071	131,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	356,432	963,245
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,779	11,204
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	1,081,187	1,362,926
現金及び現金同等物の期首残高	6,270,459	6,863,040
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額( は減少)	190,872	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,542,519	8,225,966

【注記事項】

(会計方針の変更等)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
(会計方針の変更) 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	854千円	1,742千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
給与手当	1,882,869千円	1,971,541千円
貸倒引当金繰入額		16,068 "
賞与引当金繰入額	267,280 "	364,929 "
役員賞与引当金繰入額	11,827 "	17,790 "
退職給付費用	217,935 "	127,371 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
現金及び預金	7,776,933千円	8,356,070千円
預入期間が3か月を超える定期預金	234,414 "	130,104 "
現金及び現金同等物	7,542,519千円	8,225,966千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	131,071	20	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	131,070	20	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )	16円14銭	3円63銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は 親会社株主に帰属する四半期純損失金額( ) (千円)	105,753	23,816
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に 帰属する四半期純利益金額又は 親会社株主に帰属する四半期純損失金額( ) (千円)	105,753	23,816
普通株式の期中平均株式数(株)	6,553,555	6,553,494

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月11日

株式会社フジマック  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高 橋 正 伸 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 渡 辺 雅 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の第2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。